

◎ : DPの達成に大いに貢献する
○ : DPの達成に貢献する

No	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考	DP1	DP2	DP3
				必修	選択	自由		高度な専門性と学識	豊かな教養	自律・協働する力と物事をかたちにする力
								DP1	DP2	DP3
1	研究科共通科目	研究者行動規範特論	1		1			◎	◎	
2		知的財産特論	1		1			◎	◎	
3		サイエンティフィックライティング	1		1			◎	◎	
4		プレゼンテーション特論	1		1			◎	◎	
5		イノベーション教育科目	リサーチメソドロジー特論	1・2・3		2			◎	○
6			イノベーション特論	1・2・3		2			◎	○
7			技術ロードマッピング特論	1・2・3		2			◎	○
8		キャリア教育科目	製品開発特論	1・2・3		2			◎	○
9			キャリアデザインⅡ	1・2・3		2		○	○	○
10			学外特別研修Ⅱa	1・2・3		1		○	○	○
11			学外特別研修Ⅱb	1・2・3		2		○	○	○
12			学外特別研修Ⅱc	1・2・3		3		○	○	○
13			学外特別研修Ⅱd	1・2・3		4		○	○	○
14			ジョブ型研究インターンシップ	1・2・3		2		○	○	○
15			長期インターンシップⅡ	1・2・3		6		○	○	○
16	専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1・2・3	2			○	○	◎	
17		環境共生学原論	1・2・3		2			○	◎	
18		環境共生ゼミナールⅠ	1・2・3		2			○	◎	
19		環境共生ゼミナールⅡ	1・2・3		2			○	◎	
20		科学・技術英語特論S	1・2・3		2			○	◎	
21		応用数理学特論Ⅰ	1・2・3		2			○	◎	
22		応用数理学特論Ⅱ	1・2・3		2			○	◎	
23		数理工学特論Ⅰ	1・2・3		2			○	◎	
24		数理工学特論Ⅱ	1・2・3		2			○	◎	
25		応用解析学特論Ⅰ	1・2・3		2			○	◎	
26		応用解析学特論Ⅱ	1・2・3		2			○	◎	
27		専門科目	環境地盤工学特論	1・2・3		2			◎	◎
28			Advanced Bioenergy Engineering	1・2・3		2			◎	◎
29			堤防工学特論	1・2・3		2			◎	◎
30			土質力学特論	1・2・3		2			◎	◎
31			岩盤システム工学特論	1・2・3		2			◎	◎
32			社会基盤情報工学特論	1・2・3		2			◎	◎
33	構造振動解析学特論		1・2・3		2			◎	◎	
34	地盤材料工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
35	耐震地盤工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
36	建設材料工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
37	構造設計特論		1・2・3		2			◎	◎	
38	応用水理学特論		1・2・3		2			◎	◎	
39	環境計測評価特論		1・2・3		2			◎	◎	
40	都市基盤システム工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
41	社会的意思決定論		1・2・3		2			◎	◎	
42	流域圏土砂動態特論		1・2・3		2			◎	◎	
43	河川・流域環境特論		1・2・3		2			◎	◎	
44	情報社会基盤工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
45	地域防災計画学特論		1・2・3		2			◎	◎	
46	都市設計学特論		1・2・3		2			◎	◎	
47	建築構造工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
48	空間システム計画学特論		1・2・3		2			◎	◎	
49	建築構造システム化特論		1・2・3		2			◎	◎	
50	人間環境工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
51	建築材料工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
52	グリーンケミカルプロセス特論		1・2・3		2			◎	◎	
53	分離設計工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
54	水質保全工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
55	大気環境工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
56	レオロジー工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
57	複雑流体特論		1・2・3		2			◎	◎	
58	高効率分離工学特論		1・2・3		2			◎	◎	
59	生化学変換プロセス特論	1・2・3		2			◎	◎		
60	環境熱流体工学特論	1・2・3		2			◎	◎		
61	推進工学特論	1・2・3		2			◎	◎		
62	統計流体力学特論	1・2・3		2			◎	◎		

低炭素社会の構築に向けたクリーンエネルギー技術や環境調和型のリサイクルプロセスの技術、各空間レベルにおける環境浄化・環境保全・環境修復に関する高度な環境技術に関して、自立した研究者、またはその他の専門的な業務の従事者に必要となる研究能力、および高度な専門性と豊かな学識をもって、物事を論理的・批判的に考え、問題解決ができる。

数理学系、語学系に加え、人文・社会系や国内外の社会情勢・経済情勢を含む豊かな教養を身に付け、様々な視点から物事をとらえて柔軟に思考できる。

持続可能な人間活動を支える安全で快適な生活環境と社会基盤の構築・管理に関する最先端の技術を自律心と倫理観をもって他者と協働し、高度な専門性と学識・技能を総合的に活用しながら、国際的に展開し、物事をかたちにすることができる。